

地域の経済動向(令和5年4~6月期) 《釧路・根室地域》

1 経済動向に係る企業等の声(4~6月期)

【建設業】

- ・ 地域から人がいなくなっており、今後、従業員を確保することが困難になってくると考えている。そのためデジタル技術を活用した省力化を進めていきたい。【設備工事業】

【製造業】

- ・ 資材や燃料代の高騰などの影響を感じている。牛乳・飲料分野の中での競争もあり、乳価が上がると工場も厳しくなる。(食料品製造業)
- ・ 生乳生産の抑制により苦しい状況で、先が見えない。酪農が主産業の町なので、町が衰退していくのでは、という懸念もある。やめていく酪農家も多い。(食料品製造業)
- ・ 様々なものが値上がりしているが、価格転嫁は一応できている。値上げについて卸などの取引先に話しても抵抗されることが多く、理解をしてほしいと思っている。(食料品製造業)
- ・ 梱包資材や燃料費の値上げが厳しく、価格転嫁もしづらいため、内容量を減らすなど、実質的な値上げで対応する必要も感じている。(食料品製造業)
- ・ 赤潮の時期は業績が悪化した。ふるさと納税では反響が大きかったため予約販売を受け付けたが、赤潮によりウニが品薄となったため、ふるさと納税用に品質の良いウニを優先したことで、加工品用のウニが不足することとなった。ただ、売り上げに占めるふるさと納税の割合は大きく、年末などは駆け込み需要などで特に売り上げが伸びる。(食料品製造業)
- ・ ふるさと納税にチャレンジした他、ネット販売も行っており、ネット販売ではリピーターもすこしずつ付いてきている状況。補助制度を活用し、新商品の開発も行った。(食料品製造業)
- ・ 近隣スーパーとネット販売で取扱しているが、店舗よりもネット販売での需要が多い。(食料品製造業)
- ・ 魚種の転換への対応が一番難しい。近年水揚げ量が増えてきたイワシを使用して新商品を作ったが、翌年にはイワシがとれなくなったりなど変動が大きいいため、せっかく考案した新商品が販売できなくなることもある。(食料品製造業)
- ・ 状況は厳しいが、デパートのイベントなども増えてくると思うので、その際は人を出したりしたいと考えている。(食料品製造業)
- ・ 給与も頑張らせて上げており、新規採用もできてはいるが、配達員などは人手不足で、募集してもなかなか集まらない。(食料品製造業)
- ・ 従業員は10名強でウニの殻むきなどの作業をしているが、原料のウニの入ってくる量が減ってきているため、現状、人手不足は感じていない。熟練が必要な作業のため、長い方では17~18年継続して勤務している。(食料品製造業)







【サービス業】

















- ・ エネルギーコストの上昇と採用が厳しい。(サービス業)
- ・ 卵については今のところ、不足などの大きな影響はないが、アイスクリームの製造等に使用しているため、今後影響が出てくる。(飲食店)
- ・ プロモーションへの支援があると助かる。(サービス業)
- ・ コロナ禍でも雇用の維持に努めたが、今は、地元採用と人材派遣のいずれも厳しい。(サービス業)

2 道内金融機関から見た地域景況感(4～6月期)

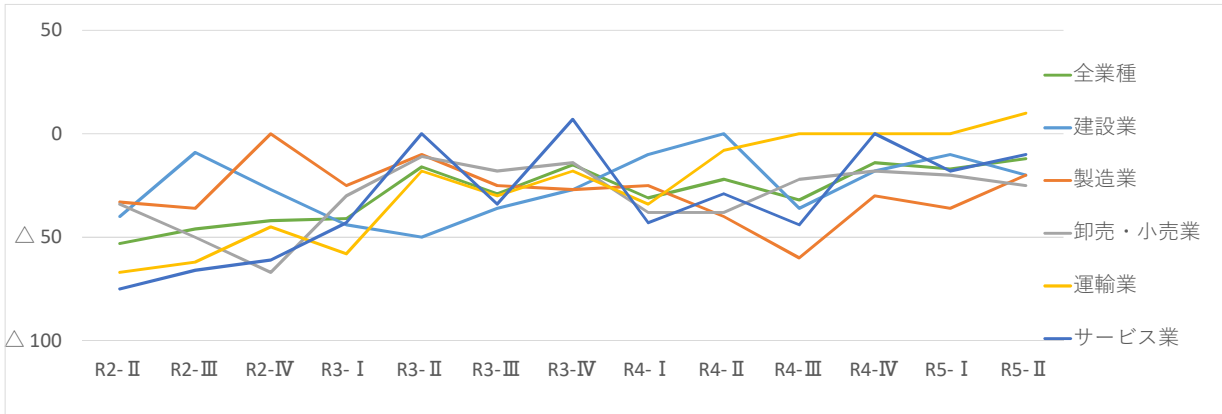
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 非常に好調 | 好調 | やや好調 | 普通 | やや低調 | 低調 | 非常に低調 |
|  |  |  |  |  |  |  |

【直近の景況感】

| | 現在の景況感 | | | | 次期見通し | |
|-----------|---|---|---|--|--|---|
| | 総合 | 生産動向 | 消費動向 | 判断理由 | 方向感 | 判断理由 |
| 釧路信用金庫 |  |  |  | 物価高騰の影響を受けつつも、消費は緩やかに持ち直している。飲食業や観光関連産業では持ち直しの動きが堅調だが、人手不足に苦慮する状況も多くみられ、今後の動向を注視する必要がある。また、酪農業では、飼料価格や燃料費・光熱費の上昇等の長期化を危惧する声が多い。以上のことから、全体として持ち直しの動きが継続しているものの、不安要素もあることから「普通」と判断した。 |  | 引き続き、物価高騰や人手不足の影響を注視する必要がある。現時点では「変わらない」と判断した。 |
| 大地みらい信用金庫 |  |  |  | 漁業では、燃料、資材費高騰から経費支出が増加傾向。ロシア、ウクライナの戦争に起因した先行きの不透明感が根強い。酪農業では、飼料価格の高騰の反面、生乳価格への転嫁が難しく収益性が低下し厳しい経営環境が継続。建築土木業では、資材高騰、金利情勢の変化などにより住宅購買需要低下、公共工事は大きく減少していないが、先行きの不透明感は強い。消費動向は、基幹産業の不振(漁業、酪農業)、物価の上昇の反面給与水準は横ばいであるため購買意欲は低調に推移。総合的には、一次産業が主体であり、経営環境悪化から今後も同様状況が続くとみられる。全国的には景気回復傾向にあっても、当地ではすぐに景気回復につながらない。 |  | 左記景況感の判断理由に基づき、同状況が短期間で解消される可能性は低く、今期同様の景況見通しと判断。 |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R3-III | R3-IV | R4-I | R4-II | R4-III | R4-IV | R5-I | R5-II |
| 釧路信用金庫 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大地みらい信用金庫 |  |  |  |  |  |  |  |  |

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



| | R2-II | R2-III | R2-IV | R3-I | R3-II | R3-III | R3-IV | R4-I | R4-II | R4-III | R4-IV | R5-I | R5-II |
|--------|-------|--------|-------|------|-------|--------|-------|------|-------|--------|-------|------|-------|
| 全業種 | △ 53 | △ 46 | △ 42 | △ 41 | △ 16 | △ 29 | △ 15 | △ 31 | △ 22 | △ 32 | △ 14 | △ 17 | △ 12 |
| 建設業 | △ 40 | △ 9 | △ 27 | △ 44 | △ 50 | △ 36 | △ 27 | △ 10 | 0 | △ 36 | △ 18 | △ 10 | △ 20 |
| 製造業 | △ 33 | △ 36 | 0 | △ 25 | △ 10 | △ 25 | △ 27 | △ 25 | △ 40 | △ 60 | △ 30 | △ 36 | △ 20 |
| 卸売・小売業 | △ 34 | △ 50 | △ 67 | △ 30 | △ 11 | △ 18 | △ 14 | △ 38 | △ 38 | △ 22 | △ 18 | △ 20 | △ 25 |
| 運輸業 | △ 67 | △ 62 | △ 45 | △ 58 | △ 18 | △ 30 | △ 18 | △ 34 | △ 8 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| サービス業 | △ 75 | △ 66 | △ 61 | △ 43 | 0 | △ 34 | 7 | △ 43 | △ 29 | △ 44 | 0 | △ 18 | △ 10 |

4 各種経済指標

